



スコープとは何ですか？



診療ガイドラインが取り上げる事項や作成方法を明確にするための文書で、診療ガイドラインの企画書にあたるものです。

スコープは、診療ガイドラインの作成にあたり、診療ガイドラインの目的や対象、取り上げる課題、作成から公開に至るまでの方法などを明確にするために、診療ガイドラインの作成の早い段階で作成される文書であり、診療ガイドライン作成の企画書ともいえる文書です。

スコープを作成していく過程で、当該疾患に関する診療上の重要な課題を基にしたクリニカルクエスチョンを設定します。患者・市民には、課題の重要度の判断や、検討する事項に見落としがないかなどについて、意見が求められます。

標準的なスコープへの記載項目は、以下のようなものです。

▶ 診療ガイドラインが扱う内容に関する事項

- ・タイトル・目的・トピック
- ・想定される利用者
- ・既存ガイドラインとの関係
- ・重要臨床課題
- ・ガイドラインが扱う範囲
- ・クリニカルクエスチョンのリスト

▶ システマティックレビューに関する事項

- ・実施スケジュール
- ・エビデンスの検索
- ・文献の選択基準、除外基準
- ・エビデンスの評価と統合の方法

▶ 推奨作成から最終化、公開までにに関する事項

- ・推奨作成の基本方針
- ・最終化
- ・外部評価の具体的方法
- ・公開の予定